

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部クリーン推進課		■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	廃電池運搬処理			
■評価事業コード	030300 - 069	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	02 資源循環型社会の形成		
	■施策	03 リサイクルの推進		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令			
■関連計画の名称				
■事業の概要	水銀が含まれる電池を、安全にリサイクルし再資源として活用する。不燃ごみとして出された廃電池をリサイクルのため梱包処理し、リサイクル施設へ運搬し処分を行う。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	廃電池運搬処理	市民		処理量 30t(5t×6回) 震災の影響で昨年度分10tを今年度処理

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	5,528	2,007	1,011	3,004	
人件費	1,400	491	324	393	
その他(公債費・減価償却費等)	107				
フルコスト	7,035	2,498	1,335	3,397	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	廃電池収集量	49.97t	20t	10t	30t	家庭から出された廃電池の量。

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

震災後の放射性物質濃度の測定結果により、平成23年11月～平成24年11月まで、広域回収処理がストップされていたが、平成24年12月より広域処理が再開されたため、平成23年度処理できなかった分も含めて、平成24年度に処理することができた。再開後は放射性物質濃度の測定をしながら順調に処理をしている。

### 問題点・課題等

処理受入れ施設に不都合があれば、処理がストップになり、計画的な回収処理が行えないので、二次的受入れ先を検討しなければならない。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

### 補足説明

廃電池処理については、処理受入れ先に問題なければ順調に処理できる。